

令和3年度 第3学年 授業改善推進プラン

	授業改善のねらい	具体的な授業改善策	評価 (○成果 ▲課題)
国語	<p>○相手や目的を意識しながら話を聞き、自分の考えをもって話し合い活動ができるようにする。</p> <p>○漢字指導の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ聞くだけの活動にならないようにめあての確認や相手意識をしっかりとめあて学習に取り組ませる。授業の中で学び合いの時間を確保し、考えを伝え合う時間を設定する。 ・授業での反復練習や、家庭学習での復習に取り組む。音読み、訓読みを確実に理解し、文章の中で使いこなせるようにする。 	
社会	<p>○資料を読み取り、そこから自分で考察できるようにする。</p> <p>○調べたことを様々な方法で表現できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用する際のポイントを伝える。繰り返し経験させることで必要な情報を選び、整理し、課題解決ができるようにする。 ・自分が調べたことをノート、新聞、ポスターセッション、ロイロノートなど一番適した方法で発表できるようにする。タブレット学習の充実も図る。 	
算数	<p>○筋道立てて自分の考えを説明することができるようにする。</p> <p>○集団検討を通して学習のポイントの理解を深める。</p> <p>○基礎的な計算（かけ算・わり算）の確実な習熟を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図と式、言葉を関連付けて自分の考えを発表させる。また、ノート指導の充実を図るとともに算数の用語を使って考えを整理させる。 ・板書の構造化に加え、ホワイトボードやICT機器の活用により、学習のポイントの焦点化を図る。 ・授業の導入時に短時間で既習の計算練習のプリントに繰り返し取り組ませる。 	
理科	<p>○根拠のある予想を立てることができるようにする。</p> <p>○科学的に考察し、説明する力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が予想を立てる際に、生活経験や既習事項を基にもっている見方、考え方を生かせるよう指導する。 ○観察、実験から得られた結果を基に自分の言葉で表現できるよう練習する。 	
体育	<p>○主体的に学ぶ態度の育成を図る。</p> <p>○何を身に付けさせるかを明確にした授業計画を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ただ楽しむだけではなく、上達するためのコツを見付け、伝え合う活動を通じて、個人やチームがよりよくなっていく体験を実感させ、学び進めていこうとする態度を育てる。 ○教師が児童に視点を与えて学び進めさせることで、児童が何を学んだのかが分かる授業展開になるよう計画する。 	